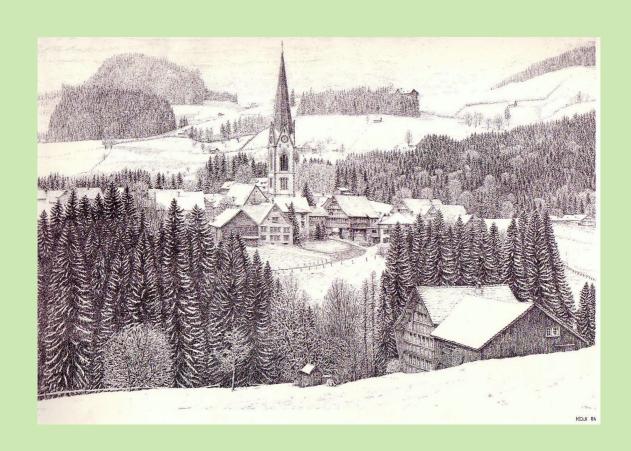
# 第41回 ヨーロッパ・キリスト者の集い

# 時がある

2024年7月25日-7月28日 ドイツ・ヴュルテムベルグ

## Schönblick



### 主の祈り

天にまします我らの父よ ねがわくは 御名をあがめさせたまえ 御国を来たらせたまえ みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ 我らの日用の糧を 今日も与えたまえ 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく 我らの罪をもゆるしたまえ 我らをこころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ 国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン

## 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。

我は聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、 からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン



## 第41回 ヨーロッパ・キリスト者の集い

参画教会: スイス日本語福音キリスト教会、フランクフルト日本語福音キリスト教会、 南ロンドン日本語キリスト教会、カールスルー工聖書の学び会

テーマ: 「時がある」

『すべてのことには定まった時期があり 天の下のすべての営みに時がある』 (伝道者の書3:1)

"For everything there is a reason, and a time for every matter, under the heaven." (Ecclesiastes 3:1)

「すべてのことには定まった時期があり、天の下のすべての営みには時がある」と伝道者は語ります。戦争や災害など、様々なことが起こり、時代が移りゆく中で、私たちキリスト者はどのように生きていけばよいのでしょう。

引き続き、ウクライナやパレスチナでは激しい戦争状態が続く中、今年はイスラエル情勢に詳しい クリスチャンジャーナリストの石堂ゆみ氏を日本からお招きして特別講演を行います。また、定期的 にイスラエルに赴き、長年ユダヤ人と交流を持っておられるマルチン・マイヤー先生からも現地の情 勢を特に聖書の観点からお話を伺います。昨年に続き、ウクライナについても皆で祈りの時を持ちま す。

神のなさることはすべて時にかなって美しく、神はまた人の心に永遠を与えられました。私たちキリスト者はいかなる時も揺るがされることなく、永遠の視点をもって、力強く与えられた道を歩み、全うしていくことができますように。永遠に変わらぬお方を恐れ、仰ぎ見つつ、今年の夏も皆で御前に集いましょう。

実行委員会一同

"For everything there is a season, and a time for every matter under heaven," says the evangelist. How should we Christians live as the times change and various things occur, such as wars and disasters?

As the war continues to rage in Ukraine and Palestine, this year we will be inviting Christian journalist Yumi Ishido, who is well versed in the situation in Israel, from Japan to give a special lecture. We will also hear from pastor Martin Mayer, who regularly travels to Israel and has had many years of relationships with Jews, regarding the situation especially from a Biblical perspective. Continuing from last year, we will all have a time of prayer for Ukraine.

Everything God does is timely and beautiful, and God has also set eternity in the hearts of men. May we, as Christians, be able to walk and fulfill the path we have been given joyfully, with an eternal perspective, without wavering at any time. Let us all gather before Him this summer, and look up to Him who never changes.

## ご案内

#### 集会について About the Sessions

各集会の5分前には会場にお集まりください。

Please arrive at the venue 5 minutes prior to each session.

## スモールグループについて About the Small Groups

スモールグループはメイン会場で行います。

The small groups will be held in the main venue.

#### アナウンス Announcements

各集会の後は実行委員会からの事務連絡のみのアナウンスとし、各自みことばを心にとめつ つ散会したいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

メッセージの翻訳・通訳がございますので、アナウンスにご注意ください。

After each meeting, only administrative announcements will be made by the Executive Committee, and we would like to disperse while keeping the Word of God in our hearts. Please note that the messages during the sessions will be translated. Please listen closely to the announcements.

#### 飲料水/スナック

飲み水は、25日(木)、26日(金)、27日(土)の3回、ペットボトルをご用意します。他にコーヒーなどは自動販売機で購入できます。飲み物やスナックのお部屋へのお持込みは自由です。

Drinking water will be available in plastic bottles on Thursday the 25th, Friday the 26th, and Saturday the 27th. Other drinks such as coffee can be purchased from vending machines. You are free to bring your own drinks and snacks to your room.

## 体調が優れない方へ For those who are not feeling well

クリスティーナ・シュワルツ姉 Kristina Schwarz姉 にご連絡ください。 TEL +4915785436402

Please contact Kristina Schwarz TEL + 4915785436402

	7月25日 (木)				
	本大会	ユース	ティーンズ	幼少科	
14:00~					
15:00~	受付・チェックイン				
16:00~	<b>オープニング集会</b> (大ホール)				
17:00~	スモールグループ(自己紹介)	ユースグループ(自己紹介) (Seminar 12)	自己紹介 (Seminar11)	自己紹介 (Forum5)	
18:00~	夕食				
19:00~					
20:00~	<b>開会</b> <b>佐々木良</b> <i>(</i> 大ホー	子先生	ティーンズ集会 <b>1</b> (Seminar11)	幼少科集会 <b>1</b> (Forum5)	
21:00~	スモールグループ	ユースグループ (Seminar 12)	スモールグループ		
22:00~					

	Thursday, 25th July				
	Main Program	Youth	Teens Program	Kids Program	
14:00~					
15:00~		Check	In		
16:00~	Opening Session (Main Hall)				
17:00~	Small Group Introduction	Youth Group Introduction (Seminar 12)	Introduction (Seminar 11)	Introduction (Forum 5)	
18:00~		Dinne	er		
19:00~					
20:00~	Opening Service Rev. Ryoko Sasaki (Main Hall)		Teens Session 1 (Seminar 11)	Kids Session 1 (Forum 5)	
21:00~	Small Group	Youth Group (Seminar 12)	Small Group		
22:00~					

		7月26日 (金)		
	本大会	ユース	ティーンズ	幼少科
7:00~	早天祈祷会 1 川上雪	<b>算先生</b> (大ホール)		
8:00~		朝食		
		7772		
9:00~				
		アイスブレイク(ティーン	<b>ズ主催)</b> (大ホール) 	
10:00~	特別講演「イ		ティーンズ集会2	遠足
		<b>み先生</b> :ール)	(Seminar 11)	(お天気によっては翌日)
11:00~	()(/			
12:00~				
12:00		昼食		
13:00~	聖歌隊リハーサル			
	大ホール		ティーンズアクティビティー	
14:00~	(13:00-14:30)	4.4.55	*自由参加	
	代表者会議	自由時間	(Forum 5)	
15:00~	1 <b>(衣有云</b> 譲 大ホール(14:30-16:00)			
	7(7)( 70 (14.00-10.00)			
16:00~		オリエンテーリング		
	分科会	(ロビー集合)		
17:00~				
18:00~		夕食		
10.55				
19:00~	41 tz			
00.00	礼拝 ディーター・ヘーゲレ先生	*** - > !	ティーンズ集会3	幼少科集会2
20:00~	(大ホール)	賛美セミナー with 横山大輔・和子	(Seminar 11)	(Forum 5)
21:00~		(Forum 3)		
21.50	スモールグループ		質問タイム	
22:00~				



Friday、26th July					
	Main Program		Youth Program	Teens Program	Kids Program
7:00~	Morning Prayer: Re	ev. Yasu	ıshi Kawakami (Main Hall)		
8:00~			Breakfa	ast	
9:00~					
			Ice-break & Worship (organiz	ed by Teens) (Main Hall)	
10:00~			ır <sup>r</sup> Israel 1 <u>.</u> ni Ishido	Teens Session 2 (Seminar 11)	Field Trip (If rain, postponed to next
11:00~		(Main	Hall)	(Seriinar 11)	day)
12:00~			Lunci	h	
13:00~	Choir Rehearsal Main Hall (13:00-14:30)			Teens Activity	
14:00~	(13:00-14:30)		For a Time	*Participation is optional	
	Representative		Free Time	(Forum 5)	
15:00~	Meeting Main Hall (14:30-16:00)				
16:00~			Orienteering		
	Workshop		(Meet at the lobby)		
17:00~					
18:00~			Dinne	er	
19:00~					
19:00~					
20:00~	Service Rev. Dieter Hägele (Main Hall)		Praise Seminar with Daisuke&Kazuko Yokoyama	Teens Session 3 (Seminar 11)	Kids Session 2 (Forum 5)
21:00~	Small Group		(Forum 3)	Question Time	
22:00~					



		7月27日 (土)		
	本大会	ユース	ティーンズ	幼少科
7:00~	早天祈祷会 2 増谷啓	<b>済先生</b> (大ホール)		
8:00~		朝食		
9:00~			( M)	
40.00		会衆賛美with 横山大輔・和子	(ユー人王惟) (大ホール)	
10:00~	特別講演「インマルチン・マルチン・マ		ティーンズ集会4	幼少科集会3
11:00~	(大ホ-		(Seminar 11)	(Forum 5)
50		A 11 == 1	In By	
40.55		全体写真	<b>撮影</b>	
12:00~		昼食		
13:00~				
10.00	聖歌隊リハーサル 大ホ	:—JU		
14:00~	祈りの時間「ウ	クライナ宣教」		
	船越真。		運動会(幼少科、ティーンズ合同)	
15:00~	(大ホー	-ル)	*自由	参加
16:00~		お悩み解決「モヤモヤアウト」		
	分科会	<b>@集い</b> (Seminar 12)		
17:00~		(Odifilial 12)		
18:00~				
		夕食		
19:00~				
	礼	库		
20:00~	渥美充住		ティーンズ証会 (Seminar 11)	幼少科集会4
	(大ホ-	<b>ール)</b>	(Genillar 11)	(Forum 5)
21:00~	スモールグループ	ユース証会		
	祈り会	(Seminar 12)		
22:00~				



	Saturday, 27th July				
	Main Program	Youth Program	Teens Program	Kids Program	
7:00~	Morning Prayer 2 Rev.A	.kira Masutani (Main Hall)			
8:00~		Breakfa	net		
		breaki	ası		
9:00~					
	Praise Time wit	th Daisuke and Kazuko Yokoyan	na (Organized by Youth Group)	(Main Hall)	
10:00~	Special Semina	r 「Israel 2」			
	Rev. Mart		Teens Session 4 (Seminar 11)	Kids Session 3 (Forum 5)	
11:00~	(Main	Hall)	,	, ,	
		Taking a Gro	up Photo		
12:00~		Talling a circ	ap 1 11010		
	Lunch				
13:00~					
	Choir Rehearsa	al at Main Hall			
14:00~	Prayer Time 「Uk	raine Mission」			
	Rev. Masato		Sports event for Teens, & Kids *Participation is optional		
15:00~	(Main	Hall)			
16:00~		Problem Solving			
	Workshop	- Out from Botherings -			
17:00~		(Seminar 12)			
18:00~		Dinne	r		
		Dillin			
19:00~					
	Serv		Teens Testimony Session	Kids Session 4	
20:00~	Rev. Mitsu (Main		(Seminar 11)	(Forum 5)	
	(IVIAIII	I lany			
21:00~	Small Group Prayer Session	Youth Testimony Session			
	Trayor occasion	(Seminar 12)			
22:00~					



		7月28日 (日)			
	本大会	ユース	ティーンズ	幼少科	
7:00~	早天祈祷会3 ラインハード	<b>・ベルンス先生</b> (大ホール)			
8:00~		朝食			
		*IJ.X			
9:00~		チェックアウト(9:00 - 9:45)			
		チェックアウト後の荷物置き場(Seminar 1-3)			
10:00~	合同礼拝				
	メッセージ:矢吹博先生				
11:00~	(Forum 2, 大ホールの裏側)				
12:00~		昼食			
13:00~		解散			

	Sunday, 28th July				
	Main Program	Youth Program	Teens Program	Kids Program	
7:00~	Morning Prayer 3 Rev. R	teinhard Berns (Main Hall)			
8:00~		Breakfa	st		
		Dioditio			
9:00~		Check Out (9:	00 - 9:45)		
		Luggage storage room after check-out (Seminar 1-3)			
10:00~		Sunday Service Message: Rev. Hiroshi Yabuki			
11:00~		(Forum 2, behind the Main Hall)			
12:00~		Lunch			
		Eulioi			
13:00~		Dismis	s		



## 分科会 (7月26日および27日 16:00~17:30)

興味のあるテーマやトピックによって少人数のグループに分かれ、参加者同士で語り合う場です。どの分科会にも自由に参加することができます。(2日間同じテーマで開催しますが、二日とも同じテーマの分科会に参加する必要はありません。

## 分科会の内容およびファシリテーター一覧 (敬称略、順不同)

テーマ	ファシリテーター (敬称略)	会場
子育てと信仰	トムセン ハンス・トムセン 千香子 (スイス日本語福音キリスト教会)	ゲストハウス 3階ラウンジ

子育ては夫婦共同の課題であり、子供が健全に育つには、何より主を信じて祝福される人生を歩んでいくことではないでしょうか。 クリスチャン夫婦や未信者の配偶者を持つ方も、シングルペアレントも、子どもたちの信仰の継承と成長をともに祈り考えましょう。

世事と伝道 川副 真生 (デュッセルドルフ日本語キリスト教会)	大ホール
------------------------------------	------

職場でキリストの香りを放つためにできることは何か?信仰を持つ人々が少なくなっている現代社会で、信仰者であることを証ししながら歩んでいくことは簡単ではありません。福音を伝えていくことは尚更のこと。 与えられた賜物を生かしつつ、社会や教会で主に喜ばれるように歩んでいきたい。一緒に考えてみましょう。

地元の日本人への伝道	チョ サオク (ロンドンJCF)	大ホール
------------	---------------------	------

異国の地で頑張る多くの日本人の同胞達、まだ主を知らずにいる方々とも生きるべき道を知り、日々祝福される人生を共に励まし合って歩むことを願います。現地の日本人コミュニティの中に出て福音を広めるために共に祈り求めましょう。

求道者の集い	井野 葉由美	大ホール横
水坦白の朱い	(ミュンヘン日本語キリスト教会)	バルコニー

信じたいけれどもなかなか信じられない。どうすれば信じることができるのでしょう。もし信じたら、何が変わるのでしょう。なかなか聞けない日頃思っていることも、疑問や心配ごと、神様のお導きを求めつつ、何でも話してみましょう。

Deutsche Gruppe ピーケンブロック トマス Thomas Piekenbrock (デュッセルドルフ日本語キリスト教会) Lounge vor d Forum 3
--

Auch wenn Ihr Ehepartner Japaner ist und es sprachliche Barrieren gibt, möchten Sie möglicherweise dennoch den Glauben zusammen teilen. Wenn Sie das Bedürfnis verspüren, Ihre Beziehung zu Gott auf Deutsch zu vertiefen, kommen Sie bitte und schließen Sie sich uns an.

テーマ	ファシリテーター (敬称略)	会場
夫婦関係	矢吹 博・矢吹 育代 (フランクフルト日本語福音キリスト教会)	ゲストハウス 2階 ショップ 前ラウンジ

夫婦関係は、人生を歩む上で聖書に教えられる基本であり、家庭、社会での働き、信仰生活も夫婦一緒に歩むことが祝福の基本です。 神様が結ばれた二人が共に生きていく上で、様々な課題がある中、主のみこころを共に求め祈りましょう。

音楽と信仰	横山 大輔・横山 和子	26日Forum 3
	(在欧日本人宣教会)	27日Forum 5

音楽は神を讃える最高の方法であり、私たちはこの尊い賜物を主に喜ばれるように用いたいと思っています。 そんな思いをお持ちの方、「人は主を讃えるために創造された」という言葉を念頭に置き、一緒に考え祈り求めていきましょう。

亦感 灶艇	ハイスヴォルフ ヨハネス・ハイスヴォルフ真菜	セミナーハウ
恋愛・結婚	(カールスルーエ聖書の学び会)	スレセプショ ン <b>前</b> ラウンジ

最愛のパートナーに出会うために、幸せな恋愛や結婚を求める人は多いです。現実には様々な課題があり、相手が未信者である場合もあるでしょう。何がみこころなのかを一緒に考え、折り求めましょう。

黙想と祈り・	シスター ソハラ	エ b ∧° n .
デボーション	(フランクフルト日本語福音キリスト教会)	チャペル

祈りと神との個人的な交わりは仰者の生活の基本であり、どうすれば御前に静かにひざまずく大切な時をもって、主との良い関係を保っていけるでしょう。 さらに深い祝福と霊的成長のために、一緒にひと時を持ちましょう。

高齢者の平安	金子 進 (オスロJCF)	大ホール
--------	------------------	------

今までの過ぎてきた日々を振り返る時、思いがけないことがひとつやふたつはあったのではないでしょうか。 自分が考えていた人生設計通りにうまくいかなかったということもあるかもしれません。 クリスチャンになって自分の信仰が素晴らしいと思うどころか、むしろ、これではだめだという思いを持っているのではないでしょうか? いつ訪れるのか誰にも分からないこの世の最期を不安を抱くことなく迎えられるよう、共に祈り求めましょう。

国際結婚/International	五十嵐 真弓	ゲストハウス
Marriage	11   風   具勺   (オスロJCF)	2階ティー
(日本語/English/German)		ルーム

グローバル時代の今日、多くの方々が国際結婚をしています。言語も文化も違う異国で夫婦関係を築き、子どもを育て、また、信仰を持ってともに生活していくことには特別の理解と協力が必要です。 家庭で教会で直面する多くの課題について、ご一緒に考えていきましょう。

◆ 分科会の各部屋の案内図が、大ホール後方のインフォメーション・コーナーに 掲示されております。ご参照ください。

## 本大会 集会概要

·開会礼拝 7月25日(木) 19: 30~21: 00

佐々木良子先生(ケルン・ボン日本語キリスト教会、ドイツ)

タイトル: 「神の時を信じる幸い」 聖書箇所: 創世記45: 5~15

概要: イエス様は、「時をよく用いなさい」、また一方では、「時を見分けることを知らないのか」と、仰せになりました。この御言葉は、混沌とした現代に生かされている私たちにも語っておられるように思います。そこで、創世記のいわゆる「ヨセフ物語」から、ヨセフの波乱万丈の生涯を通して、最悪としか思えない時を、「神の時」として信じる幸いを見て参ります。そこにはあらゆる可能性に開かれた人生が待っていて、神が最善のものを手渡してくださるのです。

25 July, 19:30-21:00 Opening Service Rev. Ryoko Sasaki (Japanische Evangelische Gemeinde Köln/Bonn, Germany) "Blessed to believe in God's time" Genesis 45:5-15

Jesus said, "Make the best use of the time," but he also he said, "Why do you not know how to interpret the present time?" These words are also spoken to us who are living in the chaotic modern times. Through the story of Joseph's turbulent life as written in Genesis, we will look into the blessings for those who believe that there is "God's time," even in what appears to be worst the times. A life full of possibilities awaits you, and God will give you the best.

·早天祈祷会 1 7月26日(金) 7: 00~7: 30

川上寧先生(Japanese Christ's Disciples, ベルギー)

タイトル: 「主にささげて生きる時」 聖書箇所: マルコの福音書12: 41~44

概要:「ささげる」という行為は、キリスト者から切り離すことができないものです。賛美をささげる、感謝をささげる、祈りをささげる、献金をささげる、礼拝をささげる、自分自身をささげる(献身)等々。これらのものを私たちは主なる神にささげますが、この「ささげる」とは命をかけることでもあります。礼拝とは、そもそも犠牲の生贄をささげることでしたし、主イエスもご自身を聖なる供え物として神にささげてくださったからです。

26 July, 7:00-7:30 Morning Prayer Meeting

# Rev. Yasushi Kawakami (Japanese Christ's Disciples, Belgium) "A time when we offer our lives to the Lord" Mark 12:41-44

The act of "offering" is inseparable from being a Christian. We praise, give thanks, pray, donate, worship, and offer ourselves (dedication), etc. We offer these things to the Lord, but this "offering" also means risking our lives. Worship originally meant offering sacrifices, and the Lord Jesus also offered Himself to God as a holy offering.

・特別講演「イスラエル1」7月26日(金) 10:00~11:30

石堂ゆみ先生 「反イスラエル・反ユダヤの世界に備える」

聖書箇所: イザヤ書41: 4

私は、1989年にイスラエルの病院で働いている時に救われました。以来、30年以上になるイスラエルとの付き合いを通して、主は実質的に存在する神であり、救いもすべてがリアルなことであることを実感しています。イスラエルは、その事実を、彼ら自身の素晴らしさではなく、失敗と苦難を通して証ししています。反イスラエル、反ユダヤが正義になる世界で、どう理解し、どう生きるのかを考えます。

26 July 10:00-11:30 Special Seminar "Israel 1" Rev. Yumi Ishido "Prepare for an anit-Israel / anti-Semitic world" Isaiah 41:4

I was saved in 1989 while working at a hospital in Israel. Since then, through my relationship with Israel for over 30 years, I have come to realize that the Lord is God who actually exists, and that the salvation is real. Israel bears witness to that fact not through their own greatness, but through their failures and hardships. We will consider how to understand and live in a world where anti-Israel and anti-Semitism becomes justice.

·礼拝 7月26日(金) 19: 30~21: 00

ディーター・ヘーゲレ先生 (デュッセルドルフ日本語キリスト教会、ドイツ)

タイトル「知恵の心を得させてください」

聖書箇所: 詩篇90: 1~17 (表題「神の人モーセの祈り」も含む)

モーセは「どうか教えてください。自分の日を数えることを。そうして私たちに知恵の心 を得させてください。」と祈り、限られた人生の中で何が最も大切かを神様が覚えさせて くださるように願っています。モーセが指摘する知恵とは何かを確認して、知恵の心を得た者としてどう生きるかについて共に考えたいと思います。

## 26 July 19:30-21:00 Worship Service Rev. Dieter Hägele (Japanische Evangelische Gemeinde Dusseldorf, Germany) "Give us a heart of wisdom" Psalm 90:1-17 (A prayer of Moses the man of God)

Moses prays, "Teach us to number our days that we may get a heart of wisdom," and he hopes God will help us remember what is most important in our limited lives. We would like to confirm what kind of wisdom Moses pointed out and consider how we should live as people who have acquired such a heart of wisdom.

·早天祈祷会 7月27日(土) 7:00~7:30

増谷啓先生 (オランダ南部日本語キリスト教会、オランダ) タイトル: 「平和を築く3ステップ」 聖書箇所: ヨハネの福音書4:5-7

今の世に遣わされた私たちは、どのように平和を築くことができるのでしょうか? イエス様は、サマリアの女性と井戸で出会い、彼女と会話をし(Engagement)、受け入れ(Accept)、証(Testify)をすることの大切さを示されました。これら三つのステップ(E・A・T)から、平和を実現するイエス様の方法を学び、祈る時としたいと思います。

27 July 7:00-7:30 Morning Prayer Meeting
Rev. Akira Masutani (Japanese Church of the Southern Netherlands, Netherlands)
"3 steps to build peace"

John 4:5-7

How can we build peace in this world? Jesus met a Samaritan woman at the well and demonstrated the importance of Engaging, Accepting, and Testifying. Through these three steps (E.A.T.), we will learn and pray about His way of achieving peace.

## ・会衆賛美 7月27日(土) 9:30~10:00 横山大輔・和子ご夫妻

昨年に引き続き、プロのゴスペルシンガーとして活躍されている横山大輔・和子ご夫妻による会衆賛美の時を持ちます。今年はユースもリードに加わり、みんなで一緒に主をほめたたえます。

27 July 9:30-10:00 Praise Time

#### Daisuke & Kazuo Yokoyama

Continuing from last year, Daisuke and Kazuko Yokoyama, who are active as professional gospel singers will lead singing the praises. This year, the youth group will join in the lead. Let us all praise the Lord together.

・特別講演 「イスラエル 2 」7月27日(土) 10: 00~11: 30 マルティン・マイヤー先生 (スイス日本語福音キリスト教会、スイス) 「イスラエルの現状を聖書の視点から見て」

現在、イスラエルとハマス・テロ組織との間に激しい戦争が続いています。この対立の原意は、聖書の視点から見てどのように理解すればよいか、一緒に学びましょう。

27 July 10:00-11:30 Special Seminar Rev. Martin Meyer (Japanische Evangelische Gemeinde Schweiz, Switzerland) "Viewing the current situation of Israel from a Biblical perspective"

There is currently a fierce war between Israel and the Hamas terrorist organization. Let us learn together how to understand the original meaning of this conflict from a Biblical perspective.

7月27日 (土) 14: 00~15: 30 祈りの時間 船越真人先生 (オデッサ教会、ウクライナ) 「ウクライナ宣教」

ウクライナ侵攻開始からもうすぐ2年半、ロシアは侵攻をやめるつもりをまったく見せていません。圧倒的戦力を保有する核保有国に侵略されながら、主権と尊厳を守るべく抗戦を続けているウクライナ。この厳しい状況の中で私たちは何をし、何に備えるべきなのか。現場からの声を届けつつ、歴史の分岐点ともいえるこの時代に生かされているキリスト者としての使命をともに考えたいと願っています。

27 July 14:00-15:30 Prayer Time

# Rev. Masato Funakoshi (Holy Trinity Church, Odesa, Ukraine) "Mission in Ukraine"

Almost two and a half years after the start of the invasion of Ukraine, Russia has shown no intention of stopping the invasion. Ukraine continues to fight to defend its sovereignty and dignity while being invaded by the country which possesses a nuclear power and overwhelming force. What should we do and what should we prepare for in this difficult situation? I hope to deliver our voices from the frontline and to consider together our mission as Christians living at this turning point in history.

・礼拝 7月27日(土) 19: 30~21: 00

渥美充代先生(ミラノ賛美教会、イタリア) タイトル: 「苦難の果てに待つ神の恵み ルツ記が伝える神の時」 聖書箇所: ルツ記1: 16~22

苦難の中にある時、その先に神様が備えておられる恵みが待っていることに、私たちはなかなか気がつかないものです。夫と息子に先立たれ、異国の地で異邦人の嫁と残されたナオミの深い悲しみと絶望はいかばかりであったでしょう。「主は私を素手で帰された」とナオミは言いましたが、彼女にすがりつき離れなかったルツを通して、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを私たちは知るのです。

27 July 19:30-21:00 Worship Service Rev. Mitsuyo Atsumi (Milano Praise Church, Italy) "God's grace awaits at the end of hardship: God's time shown in the book of Ruth" Ruth 1:16-22

When we are in the midst of hardship, we often fail to realize that God's blessing awaits for us at the end. Naomi, who lost her husband and sons and was left alone in a foreign land with her foreign daughter-in-law, must have felt deep sadness and despair. Naomi said, "The LORD has brought me back empty." But through the life of Ruth who clung to Naomi, we see that all things work together for good for those who are called according to God's purpose.

・早天祈祷会 7月28日(日) 7:00~7:30

ラインハード・ベルンス先生 (ハンブルグ日本語福音キリスト教会、ドイツ)

「神の原則を基にして生きる」 聖書箇所: 伝道者の書 11: 1~6

数年前なら、コロナがくる、ウクライナの戦争が起こると誰も思わなかったのです。将来 において何か起こるか分かりませんが、今どのように生きたら良いか、伝道者の書がアド バイスを与えてくださいます。

## 28 July 7:00-7:30 Morning Prayer Meeting Rev. Reinhard Berns (Japanische Evangelische Christliche Gemeinde Hamburg, Germany)

"Live by God's principles" Ecclesiastes 11:1-6

A few years ago, no one would have thought that the coronavirus would come or that there would be a war in Ukraine. We don't know what will happen in the future, but the book of Ecclesiastes gives us advice on how to live now.

・合同礼拝 7月28日(日)10:00~11:30

矢吹博先生(フランクフルト日本語福音キリスト教会、ドイツ) 「私たちは今、何を見ているのか」 聖書箇所:ヨハネの福音書4:27~42

主イエスは、対話によって一人のサマリアの女性を導かれた。そして、この出来事には、イエスと弟子たちとの間の不思議な対話も織り込まれている。実際の食物のことを考えていた弟子たちに、「父のみこころを行うことがわたしの食物」だとして、弟子たちをその「食物」、為すべき務めへと招かれた。さらに、弟子たちが為すべき務めが、救いに与った女性によってすでに始められていた。この時イエスは何を見ておられたのか。今、私たちは何を見ているのだろうか。

28 July 10:00-11:30 Joint Service Rev. Hiroshi Yabuki (Japanische Evengelische Gemeinde Frankfurt am Main, Germany) "What are we seeing now?" John 4:27-42

The Lord Jesus led a Samaritan woman through a conversation. The story also includes a mysterious dialogue between Jesus and his disciples. Although the disciples were thinking about actual food, Jesus said, "My food is to do the will of him who sent me and to accomplish his work," and He called them to "food," and that was the work that they were supposed to do. Furthermore, the work that the disciples were to do had already been begun by the woman who were saved. What was Jesus seeing at that time? What are we seeing now?

#### アンケートのお願い

この度はヨーロッパ・キリスト者の集いにご参加くださり、誠にありがとうございました。この集いは、参加者皆で自発的に行う信徒運動です。今後もより良くしていくためにアンケートを用意しました。以下のQRコードをスキャンくださり、是非、ご意見をお寄せください。期限は8月末です。よろしくお願いします。

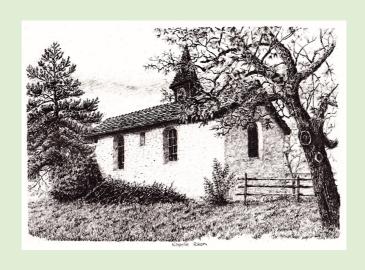


表紙 東スイス Hundwil, Appenzellerland 裏表紙 Kapelle Rikon 松林幸二郎

油絵 エルサレムの城壁

ネゲブの若枝(イザヤ53:2) キャロル美佐子

折り紙画作品 池田喜美子



## 参画教会・集会

スイス日本語福音キリスト教会、 南ロンドン日本語キリスト教会、

フランクフルト日本語福音キリスト教会 カールスルーエ聖書の学び会

教会/集会

氏名